

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	大阪府立中央図書館			代表者名	三和利恵子
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	協力振興課	連絡先電話番号	06-6745-0170
担当者役職	総括主査	担当者氏名	徳森耕太郎	連絡先E-mail	
住所	577-0011 大阪府東大阪市荒本北1-2-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名	大阪府図書館司書セミナー
概要	府域各図書館等において、図書館システム運用における課題解決等に向け、ICT活用、業務DX化、図書館を取り巻く情報技術の動向等に関する情報取得の機会へのニーズが非常に高い。そのため、府域図書館関係者を集めた研修会を開催し、図書館と生成AI・情報セキュリティ・ICT活用等に関する有識者を招聘し、講演いただきたい。		
支援を求める分野	人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 生成AI活用 デジタルアーカイブ／図書館 自治体セキュリティ		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年10月1日	講演(実地)	14時00分	16時00分	
				活動時間（分）	120
2-2. 派遣場所	会場名	大阪府立中央図書館		最寄駅	荒本
	所在地	大阪府東大阪市荒本北1-2-1		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	原田 隆史				
評価	大変良い				
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	講演にて、生成AIのしくみ、現状、強み、問題点、関連技術、図書館業務での応用、その有効性と留意点等、難解な部分も含め大変わかりやすく、丁寧かつ具体的にご解説いただいた。また、当研修にかかる資料等をアーカイブし、今回聴講することができなかった府域図書館関係者にも、引き続き参照いただけるツールが得られる予定。府域図書館関係者にとって大変有意義な機会となった。				
アドバイザーへの要望事項	特になし				

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	122人
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	122	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	府域の図書館・学校図書館等において、生成AIへの理解、対応、向き合い方に戸惑いがみられた。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	生成AIに対する現状理解を深め、また図書館・学校図書館としてどのように向き合い、活用するべきか認識し、今後の運営に生かす。

アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）		講演にて、生成AIのしくみ、現状についての理解が深まり、場合によってはネガティブにも捉えられていたものが、注意すべき点等が整理された上で、各館において活用しうるものとして、今後適切に付き合っていく道筋が得られた。	
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）		生成AIのしくみ、現状についての理解が深まり、場合によってはネガティブにも捉えられていたものが、注意すべき点等が整理された上で、各館において活用しうるものとして、今後適切に付き合っていく道筋が得られた。	
具体的な成果物		最も当てはまるものをリストより選択下さい。	④人材育成のカリキュラムやツールを策定できた 当研修にかかる資料等のアーカイブを準備中。今回聴講することができなかった府域図書館関係者にも、引き続き参照いただけるツールが得られる予定。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 （具体的にご記入ください）		生成AIとその周辺技術は日進月歩であり、状況変化の度合いは早いと思われる。また府域各館における情報環境等は様々であり、各館における生成AIとの最適な活用法はそれぞれにて検討する必要がある。	
アンケートの内容と分析結果		講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（E X C E LやP D Fでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 テーマや講師、内容等について印象を問うアンケートを実施し、良好な結果を得られた。特に「仕事やその他のことで役に立ったあるいは参考になったと思うか」の問いには「そう思う」「どちらかというと思う」の回答が97.3%となり、極めて高い満足度であった。	
4－3. 今後の計画		最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある 生成AIとその周辺技術は日進月歩であり、状況変化の度合いは早いため、今後も折をみて関連テーマを取り上げ、各館の理解を深めたい。
4－4. 事業の最終的な目指す姿		この研修を契機に、府域各館において生成AIの動向を注視し、それぞれの情報環境等に応じて適切に活用し、ユーザーの利便性向上に繋げる。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past_year_all_houkoku/)

なおくその他＞を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。